



芦安中学校だより

第 17 号

校長 大石 浩雄

2026. 2. 9

あっという間に1月が終わり、2月に入りました。3年生は卒業に向けて、1・2年生は1年間のまとめと進級に向けて日々の学校生活を送っています。2月18日の授業参観よろしくお祈りします。

☆学校栄養士による食育 朝食の大切さ

1月23日(金)の給食の時間に北部給食センター栄養士の森本先生が来校して食育に関する講座してくれました。講座の中では朝食の役割や必要性について丁寧に話をしてくれました。

生徒たちは給食を食べながら話を聞き、朝食を食べるという習慣が心身の成長に大きな影響を与えていることを学びました。



話は変わりますが、先日、市の健康づくり推進会議に委員として参加した際に、小中学生の朝食摂取状況が平成30年度と比べ悪化しているという報告を聞きました。主な理由として「食べるより寝ていたい」「食欲がわからない」「食べたり、準備するのが面倒」「食べる時間がない」といったことが挙げられていました。

じゅうぶんな睡眠をとり、時間の余裕を持って起床して、朝食をしっかりとることで意欲を持って1日のスタートをする。当たり前なのですがこうした習慣ができていない児童生徒が増加しているようです。今回の講座を聞いた生徒たちには、こうした習慣を大切にしてもらいたいと思います。

☆第3回学校運営協議会を実施しました

2月3日(火)の午後、第3回の学校運営協議会が実施されました。学校運営協議会は、コミュニティースクールとして地域とともにある学校をつくっていくために、地域代表、保護者代表、有識者と学校が集まり、学校運営について話し合う会議です。今回の主な内容は、今年度の振り返りとそれに基づく次年度の方針についてでした。2学期末に実施した教職員・生徒・保護者の各アンケートを基にした学校評価で今年度の成果と課題を

明らかにして、それをもとに令和8年度の学校経営方針を示し、委員の皆様承認していただきました。

この会議の中で話題になったことのひとつとして、「学校、保護者、地域住民が気軽に情報交換をしたりそれぞれの思いを伝えたりできる機会を増やせるとよいのではないか」ということがありました。私個人としては良いことだと思いましたが、同時にこうした機会を〇〇会議という形で位置付けてしまうと、会議の準備や運営が負担となってしまうことや公の場では話づらいことなどもあるだろうなども感じました。今後、どのような形でこうした機会をつくるのか、現在のところ未定です。ただ、芦安中学校では基本的に保護者と地域の方には常時学校開放をしているので、何か学校や生徒に関わることがあれば、気軽に足を運んでいただき話をさせていただけるとありがたいと考えています。



☆多様性社会に対応するために

現代は多様性の時代だと言われるようになってずいぶん時間がたちました。学校でもそれに対応した教育を進めています。世の中では、多様性を盾にしてルールを破ることを正当化するような主張を耳にすることがあります。一方でルールを盾に多様性を否定して同一化を強要するような主張も耳にします。社会や学校といった集団が進む方向についてどのように決めていくことが必要なのでしょうか。

学校では「正解ではなく、みんなの納得解を導き出す」ということを指導しています。その時にはポイントがいくつかあります。集団として目指す方向や重視する価値などについて共有すること。自分以外の人の感じ方や考えも聞くこと。自分にとって100点の答えでなくても決めたことを尊重すること等です。こうした取組は話し合いに時間がかかり、時に効率が悪く見えます。しかし生徒が将来社会に出たときに必須の能力と考え、取り組んでいます。そしてやがて「みんな違ってみんないい」と笑って言えるようになるといいと思っています。





芦安中学校だより

第 18 号

校長 大石 浩雄

2026. 2. 20

立春を過ぎても寒い日が続くなあと感じていましたが、少しずつ春の気配を感じる日が増えてきました。3学期も後半、1年間の仕上げの時期となりました。卒業式に向けて3年生も在校生も取組をがんばっています。

☆雪が降って

2月7日(土)と8日(日)に学校周辺ではまとまった積雪がありました。

- ・休日にもかかわらずわざわざ学校へ来て周辺の雪かきをしてくれた方が何名かいました。ありがとうございます。おかげで9日(月)の朝、生徒が安全に登校することができました。生徒には自分が通る場所が除雪されていることを当たり前と思わず、除雪してくれた人がいることに気づき、その人が自分たちことを思ってくれていることに感謝の気持ちを持てるようになってもらいたいと思います。
- ・雪が積もった校庭で遊ぶ生徒を見て「寒いから外に出たくない」「誰かと一緒に遊ぶより一人で動画を見ていたい」というより「せっかく雪が降ったのだから遊びたい」「みんなで遊ぶのは楽しい」そう考える方が健康的な気がしました。ちょっとした考え方の違いかもしれませんが、積み重なると心の健康にもつながるのではないかと思います。心身とも健康な生徒であってほしいと思います。
- ・若い頃は雪が降るとうれしいという気持ちが大きかった記憶がありますが、最近はやらなければいけないことがたくさん頭に浮かび、憂鬱になることの方が多いです。「やらなければいけないこと」を前向きな気持ちで取り組めるようになれば問題解消なのに・・・と考えていて、生徒の勉強もこれと同じだなと思いました。自分や生徒のやる気スイッチをいかに押せるか、教師として永遠の課題だと思っています。



☆小中合同英語活動

(絵本の読み聞かせ)

2月17日(火)の朝の時間を使って小中合同の英語活動として中学生による絵本の読み聞かせを実施しました。今回題材に取り上げたのは「Brown bear」という絵本でした。読み聞かせは、いろいろな色の動物の登場を通して、色や動物名をみんなで一緒に口にしながら覚えていけるように進めていきました。

中学生ひとりひとりが役割を受け持ち、セリフを言っていく様子を見ていて、得意不得意がある中、みんなが挑戦できたことはよかったですと思いました。ただ、これで満足せず「次はもっとこうしてみよう」という気持ちを、次の機会(来年度になりますが)にいかせるようにできるとよいと思いました。



異年齢集団の中で行われる小中合同活動では、自分視点だけでなく他者視点で判断することや行動することも重要です。そのことが学びや成長を促すことにもつながります。「自分的にOKだから」で終わりにせず、他者からはどう見えているのか感じているのかも同時に意識することで、活動の質が高まるはずで、学校としてこうした多角的な視点を意識した指導を大切にしていきたいと思っています。

☆授業参観・学年部会への参加

ありがとうございました

2月18日(水)の午後に授業参観とPTA学年部会を実施しました。1・2年生は修学旅行の事前学習に関わる発表会、3年生は理科の授業を行いました。発表会では、ひとりひとりが自分の興味を持った見学地について調べたことをまとめ、PCを使って紹介しました。クイズや自分のエピソードを織り交ぜ、楽しく発表をしていました。修学旅行を楽しみにしている気持ちが伝わってきました。3年生の理科では、天体の位置



人前での発表は緊張しますね



保護者さんもクイズに挑戦してくれました!

と見え方、季節の関係を、モデルを使って確認することで理解を深めることが行われていました。



芦安小中では、保護者はもちろん地域の方も自由に授業参観ができる形で実施しています。今後もこの形式を継続していく予定ですので、平日の昼間ではありますが、ぜひ多くの方に見ていただきたいと思っています。

授業終了後、各教室で学年部会が行われました。ここでは年間の振り返りや会計報告、3年生は卒業式、1・2年生は修学旅行に向けた話し合い等が行われました。

生徒にとって保護者や地域の方などに授業や学校生活の様子を見てもらうことは、成長を促すよい刺激になると感じています。行事や授業参観の時に限らず、学校の近くに来たときに気軽に参観をしていただけるとよいのではないかと思います。

☆中学3年間最後の期末テスト

2月19日(木)・20日(金)に3年生の期末テストがありました。中学3年間で受ける最後のテストでした。これが最後ということを生徒がどのくらい意識していたか正確なところはわかりませんが、時間いっぱいまで取り組むことができました。



テストというと何点だったという面に注目されがちですが、それとは別にテストのためにどのくらい準備ができたのか、日常の授業や家庭学習でどのくらい積み重ねができていたのかといったことも大切です。

学校教育目標の中には将来を切り拓いていく力の育成を意味する言葉があります。その視点で考えると、テストのために準備する力は仕事を成功させるために事前準備をする力に、日常の積み重ねをする力は自己のスキルアップのための研鑽する力につながるのだと思います。テストを受けていた3年生の様子を見ながら、これからの将来、中学時代に身につけた準備力、積み重ね力をしっかりと発揮してくれるといいなと思いました。

☆小学校への出前授業

2月19日(木)の午後、中学校教員が芦安小に行き、6年生に授業をする「出前授業」を行いました。これは小中連携の一環で、中一ギャップといわれる進学に伴う児童の戸惑いを小さくするための取組です。今年度は6年生に理科の授業を体験してもらいました。

当然のことですが、小学校と中学校では学習内容の難易度や約束事などに違いがあります。これは子どもの発達段階や学習内容の高まり、将来社会に出たときに求められる能力に合わせているためです。



今回の出前授業を通して中学での授業の様子を知り、それに向けた準備ができるとよいと思います。

☆3年生を送る会と卒業式に向けての取組

卒業式(3月11日)まであと少しとなりました。1・2年生は3年生を送る会(3月9日)も含めて在校生として「最後に自分たちができる精一杯のことを」と取り組んでいます。主な取組としては、合唱、プレゼント、みんなで楽しむレクの3つです。

合唱は在校生ひとりひとりが大きな声で一生懸命歌う姿を見せられるといいでしょう。プレゼントはもらう人が喜びそうなものを想像してひとりひとりが丁寧につくったものを渡せるといいでしょう。レクは卒業生が楽しめることを第一に考え、企画運営をできるといいでしょう。

と口で言うことは簡単ですが、実際にそれをするのはなかなか難しいものです。歌うのが恥ずかしい、丁寧につくろうとしてもうまくできない、どうすれば楽しんでもらえるのかよくわからないといったことがあるで



しょう。ただ、「卒業生(自分以外の人)のために」という気持ちで「大変な事でもあきらめたり投げ出したりせずやりとげよう」とすることで、その姿勢が相手に伝わり何よりの贈り物となるでしょう。また「誰かのために」という思いが、今の自分を乗り越え成長させる機会にもなります。今回の取組がそうした機会になることに期待しています。

☆お知らせ

令和8年度から山梨県内公立小中学校の教職員が校務で使うシステムが変更になります。すでに保護者のみなさまに登録をお願いしたところではありますが、4月から欠席連絡や連絡メールの配信等について変更があります。校務DXの推進により業務を効率化して教育の質の向上をはかれるようにしていくための取組となります。ご理解ご協力をお願いいたします。